

# 2024年度 平和大学講座

## 食卓から地球の平和と 人類の共存を考える

3/14(金)

14時~17時

齋藤 忠夫



WCRP平和研究所所員  
東北大学名誉教授  
~基調発題~

松井 ケティ



WCRP平和研究所所員  
清泉女子大学教授  
~コーディネーター~

竹村 牧男



WCRP平和研究所所長  
東洋大学名誉教授

日比 絵理子



国連食糧農業機関  
[FAO]駐日事務所所長

森 伸生



WCRP平和研究所所員  
拓殖大学イスラーム研究所所長

### プログラム (敬称略)

- 開会・平和の祈り  
14:00 開会挨拶: 戸松義晴  
(WCRP日本委員会理事長)
- 14:05 基調発題: 齋藤忠夫
- 休憩----
- 15:15 パネルディスカッション  
コーディネーター: 松井ケティ  
パネリスト: 竹村牧男  
日比絵理子  
森 伸生  
齋藤忠夫(基調発題)
- 16:25  
16:50 質疑応答  
まとめ
- 16:55  
閉会・平和の祈り  
閉会挨拶: WCRP日本委員会役員

### 参加お申込み

2024年度の平和大学講座は「会場」と「オンライン」を併用して開催します。下記URLをクリック、またはQRコードを読み取り、必要事項をご記入の上、お申込み下さい。なお、会場参加をご希望の方におかれましては、人数の制限がございますのでお早めにお申込み下さい。

お申込みリンク:

<https://forms.gle/mxpSCoZERXCWay598>



会場

■ 北野天満宮 文道会館1階ホールおよびオンライン

※平和大学講座の『参加申込み』については裏面をご覧ください。

(〒602-8386 京都市上京区馬喰町 北野天満宮 TEL:075-461-0005)

アクセス方法:<https://kitanotenmangu.or.jp/access/> または右記QRコード



地球社会の平和について考える時、私たちは国際政治や世界の地域紛争など、大きな問題に目が向きがちです。しかし、人間性の回復という観点から見た時、まず私たちの日々の暮らしから見直していくことも必要ではないでしょうか。争いのない世界とは、誰もが安全な食べ物を十分に食べられる世界でもあります。その意味で、2024年度の平和大学講座では、私たちの食卓から平和の問題を考えてみたいと思います。充実した食の習慣こそが、豊かな人間性を養う意外な秘訣になるかもしれません。

マクロの視点から見れば、地域紛争の火種は食糧危機が背景にあることが多く、また紛争や戦争が起これば食糧危機がさらに悪化します。食糧危機は、昨今の気候変動や世界人口の増大からも起こりえます。また、家畜の飼育は大気や土壌の汚染にも繋がり、健康のためだけでなく、環境保護の観点からすれば肉食を止めて菜食やビーガン食にすべきだという意見もあり、近年では昆虫食の推進が国連のレベルでも主張されています。

一方、世界の諸宗教はそれぞれ独自の食文化を有しています。仏教は菜食を進め、イスラームではハラール食を推奨してきました。また、この食物は食べてはいけないという食のタブーも見られます。こうした宗教の食文化には、時代を超えて普遍的に通じる先人の知恵が見られるはずです。

今日、私たちは地球社会に生きる人間として、環境に負荷をかけず、動物を愛護することが求められます。そして何より大切なのは自らの健康です。誰もがそのように生きて行くことができるならば、それは必ずや地球の平和と人類の共存を可能にする大きな条件となるはずです。さまざまな食の可能性が出てきた現代において、ミクロの視点から私たちの食卓を見直し、そして今一度、自らの食習慣を見直しつつ、人間性について考え直し、これを地球社会の平和の問題につなげてまいりたいと思います。

なお、今回のテーマは、WCRP日本委員会平和研究所の2024年度テーマ「未来の地球社会の平和を目指して一人間性の回復を通して」を踏まえています。

## 登壇者プロフィール

齋藤 忠夫 Tadao Saito

WCRP平和研究所所員  
東北大学名誉教授

東北大学農学部卒、同大学院農学研究科博士課程修了。東北福祉大学講師、東北大学大学院農学研究科准教授・教授を歴任。2016年、オエノンホールディングス株式会社の社外取締役役に就任、現在に至る。食品科学と応用微生物学を専門とし、乳酸菌の機能性解析とそれらを利用した機能性乳製品の開発・研究を行っている。現在はWCRP日本委員会平和研究所所員、東北大学名誉教授。主な著書に『酵素ハンドブック』『最新畜産物利用学』（朝倉書店）、『動物資源利用学』『畜産物利用学』（文永堂出版）、『ミルクの先端機能』（弘学出版）など約50冊。日本酪農科学会賞、日本畜産学会賞ほか多数受賞。

松井 ケティ Kathy Matsui

WCRP平和研究所所員  
清泉女子大学教授

清泉女子大学地球市民学科教授。包括的平和学習、協調的コミュニケーション法を専門とする。主な社会活動は武力紛争予防のためのグローバル・パートナーシップ(GPPAC)平和教育ワーキンググループ、東北アジア地域平和構築インスティテュート(NARPI)と韓国ユネスコアジア太平洋国際理解教育センターと平和教育プロジェクトを実施している。また、WCRP日本委員会女性部会委員、同和解の教育タスクフォース運営委員、同平和研究所所員を務める。

竹村 牧男 Makio Takemura

WCRP平和研究所所長  
東洋大学名誉教授

東京大学文学部卒、同大学院印度哲学博士課程中退。文化庁文化部宗務課専門職員、三重大学人文学部助教授、筑波大学教授(哲学・思想学系)など歴任。2002年、東洋大学文学部教授、2009年9月より2020年3月まで東洋大学学長。現在はWCRP日本委員会理事、同平和研究所所長、筑波大学名誉教授、東洋大学名誉教授。専門は仏教学、宗教哲学。唯識思想研究で博士(文学)。主な著書に『〈宗教〉の核心——西田幾多郎と鈴木大拙に学ぶ』（春秋社）『ブッディスト・エコロジー』（ノンブル社）ほか多数。

日比 絵理子 Eriko Hibi

国連食糧農業機関[FAO]  
駐日事務所所長

国連人口基金(UNFPA)に約16年間勤務、バンコクでアジア太平洋地域事務局の地域プログラム・コーディネーター、UNFPAニューヨーク本部の人道対応ユニットのプログラム・スペシャリストを務めた。2011年にFAO本部戦略・計画・資源管理局(当時)にシニア戦略・計画オフィサーとして入局。シリア国事務所長、その後太平洋州14か国の所長を務め、2020年9月より横浜のFAO連絡事務所所長を務めている。日本国籍を有し、米国のジョンズ・ホプキンス大学ポール・ニツツエ高等国際問題研究大学院(SAIS)で国際関係学修士号、英国のリーディング大学で国際研究の修士号、日本の上智大学で法学士号を取得した。

森 伸生 Nobuo Mori

WCRP平和研究所員  
拓殖大学イスラーム研究所所長

拓殖大学政経学部および在サウジアラビアウンム・ル・クラール大学イスラーム神学部卒業。在サウジアラビア日本大使館専門調査員、拓殖大学イスラーム研究所教授・所長を歴任。現在WCRP日本委員会平和研究所所員、拓殖大学名誉教授・イスラーム研究所所長。専門はイスラーム神学・法学、サウジアラビアを中心とした中東地域研究。主な著書に『ユーラシア東西文明に影響したイスラーム』（共著、自由社）、『中東・イスラーム世界への30の扉』（共著、ミネルヴァ書房）、『君主制諸国』（共著、ミネルヴァ書房）ほか多数。

主催

お問合せ

(公財)世界宗教者平和会議(WCRP)日本委員会

☎ 03-3384-2337

✉ rfpj-info@wcrp.or.jp

🌐 <https://www.wcrp.or.jp>

